

その他の木材・木製品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	8~9	梱包作業のため、当社事務所から作業場所へ徒歩で移動していたところ、草地の下り坂で足を滑らせてしまい、転倒した際に左足に乗ってしまっただけのため負傷した。	27	10~29
2	14~15	本社事務所内にて同僚の机で仕事の打ち合わせをしていたところ、会社の電話に着信があったため自分の席に戻り電話を取ろうと小走りで席に戻っている際に履いていたスリッパが滑って体の左側から転倒し床面にて左大腿骨を強打し、骨折したものである。	53	10~29
3	17~18	終業時間になったので材木製品を片づけようとして、両手で抱え運んでいたところ、つまずき転倒した。前方に加工台があり、加工台に乗るような形で倒れこんだため、材木、加工工具、台に手がはさまるような形になり負傷した。	38	1~9
4	13~14	現場にてクレーンで荷おろし作業後、吊りバンドを回収するため入った際に敷地のくぼみに気づかず足をくじき転倒した。	38	50~99
5	16~17	工場内において、ベニア切断作業をし終わり、周りに散らかった破片を片付けるため歩いている時、ベニアの破片に躓き転倒した。	68	1~9
5	11~12	工場1課3階の縁貼機2号縁貼ライン操作盤で段取り替え作業後、歩行を開始した際、設備に敷いてある5mmの鉄板に躓き転倒した。その際、縁貼機点検窓に手を打ちつけ、ガラスが割れ、手首を切傷した。	48	50~99
	17~	工場内で仕事が終わりに、帰る途中に踏み台があり（H25cm×L90cm×W50cm）、誤っ		1

6	18	て足を踏み外して転倒し、受傷した。	66	～ 9
6	14～ 15	家具建具の在庫を置いている障子パレットの一番奥の障子を引き出すため、障子パレット上に乗り、前に積み重ねられている障子をずらそうとして一歩後に下がったところ、思った所にパレットがなく、そのまま約30cm程の高さから、コンクリート床に転倒した。着手した際に右足首を捻り、右第5中足骨骨折となった。	54	10 ～ 29
11	14～ 15	蒲鉾板の選別をする作業をしていて、蒲鉾板の結束をする為、作業台の反対側に回ろうとした際、躓き両手をついて転倒した。右手首に重心が加わり、負傷したものである。痛みが引かないので、後日病院で受診した。	50	10 ～ 29
12	8～9	当社製材工場の前で、朝礼に参加する際、凍結した地面に足を滑らせて転倒した。	46	50 ～ 99
12	11～12	他社工場内で事務所に向かって歩いてたとき、段差でつまずいて転倒し咄嗟に両手をついた際、左肩を負傷した。	54	30 ～ 49
12	10～11	更衣室に向かう入口の段差に躓き、転んだ先にあったドアに左側面からぶつかり強打し、左腕を骨折した。	68	50 ～ 99
12	11～12	工場で、仕事の後片づけをしているとき、作業場とトイレの間に置いている固定板(450×2000×30mm)を渡っているときに転んでしまい、地面に右手をついて負傷した。	68	1 ～ 9
12	14～15	本社工場内にて横切り作業中、製品の寸法カット後、余った製品を2m先の仮位置に移動中に、他の置いてあった材料に誤って足を引っかけて転倒し、右足脛と踵を負傷し、そのまま入院となった。	44	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html

